



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2024～2025 年度 高山中央 RC 会長テーマ

美しい調和 「beautiful harmony」



◆会長 堀口 裕之 ◆幹事 高橋 厚生 ◆会報委員長 中屋 出 ◆会報担当 角竹 正至

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1367 回	53 名	53 名	43 名	——	81.13%
前々回 1365 回	55 名	55 名	31 名	4 名	63.63%

●点 鐘

●ロータリーソング

我らの生業

●ゲストおよびビジターの紹介

MAP06 実行委員会

委員長 舛井 蓮 様

委員 長瀬 優獅 様

委員 藤白 絢子 様

●会長の時間

会長 堀口 裕之

本日は公共イメージ/IT 委員会による高山中央ロータリークラブとしては初めての試みとして高校生団体MAP06のメンバーとの交流例会です。高校生の皆様にむけてロータリークラブとは何かについて少しお話しさせていただきます。



ロータリークラブとは奉仕の理想を信条とし、会員は職業が異なる成人で形成されており、それぞれ異なった職業を基として奉仕活動を展開する世界的な団体です。

20 世紀初頭の 1905 年 2 月 23 日に青年弁護士ポール・ハリスと友人 3 人が互いに信頼できる公正な取引を念頭にロータリーの語源となった会合(例会)を持ち回りで開催することを約束にシカゴロータリクラブを立ち上げました。以来、200 以上の国と地域に広がりクラブ数 3 万 6 千以上、会員数 110 万人以上に達しております。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにあります。
第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものに

すること

第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

高山中央ロータリークラブは奉仕の理念に基づき新世代奉仕として中学生を対象にキャリア教育である出前講座を積極的に進めてまいりました。本日は高校生の皆様を例会にお迎えして SNS を活用した公共イメージの向上についてヒントを頂くと共に「良いことをしよう」の旗印のもとロータリアンとしてMAP06の活動支援になにができることがないか考える機会とさせていただきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

●幹事報告

幹事代理 熊崎 元康

◎国際ロータリー第 2630 地区
ガバナー事務所より

・みえぎふEテラスロータリー
クラブについて

◎ロータリー米山記念奨学会
より

・ハイライトよねやま 293

○岐阜東南ロータリークラブより

・インターアクト年次大会参加のお礼

○高山ロータリークラブより

・高山 3 RC 合同ガバナー公式訪問例会のご案内

日時：9 月 26 日 (木)

会場：ひだホテルプラザ

*当クラブは 9 月 30 日 (月) の例会を変更



○高山西ロータリークラブより
 ・高山地区 5 クラブ&国際ソロプチミスト高山親善交流ゴルフコンペのご案内
 日時：10月27日（日）7：56 スタート
 会場：飛騨高山カントリークラブ
 参加費：10,000 円 クラブ会費：30,000 円

<会報>

・下呂RC

●公共イメージ/IT 委員会

委員長 水口 邦博

本日の例会を担当させていただきます、公共イメージ/IT 委員会の水口です。

先ほど会長よりご紹介ありましたが、本日は MAP という高校生団体の方をお招きしました。



実はこの MAP に私自身がお手伝いをさせていただいており、その様な経緯で本日の事業にマッチングさせていただいております。

また、後ほど MAP メンバーにより説明があると思いますが、彼らが行うイベントに、この中央メンバーからも多くのご協力をいただいております。（その節はありがとうございました。）

ここで、事業趣旨をご説明させていただきます。まずはやはり、高校生団体との交流と言う事で、お子さんやお孫さんほどの年の差がある方々に、当クラブを知っていただく絶好の機会とし、本日の様子を双方の SNS により発信（IT の部分ですね）、これにより多くの方々に当クラブの情報発信とイメージアップ（公共イメージですね）に努めます。

ですから途中、SNS で使用する写真を何枚か取らせて頂きますので、皆さま、油断なさないようお願いいたします。

それではまず、MAP メンバーを紹介します。

高校生団体 MAP との交流例会

MAP06 実行委員会

委員長 舛井 蓮 様
 委員 長瀬 優獅 様
 委員 藤白 絢子 様



1. MAP '06 とは？ 活動の趣旨・・・舛井 蓮 様
 本日は我々 MAP '06 に貴重なお時間を頂きまして有難うございます。

昨年度は多くの皆様にご協賛いただきありがとうございました。

本日は我々がどのような団体なのか、どのようなイベントを計画しているかについて説明させていただきます。

我々 MAP '06 は、飛騨地域の 4 つの高校を中心に 13 名が集まって活動している高校生団体です。西高校・斐太高校・高山高校・吉城高校と飛騨地域の高校が中心ですが、本年度は岐阜高専・富山高専と飛騨を離れた高校生も一緒に活動しています。

活動の始まりは二年前の 2022 年に私たちの先輩が開催した MAP '04 というイベントで、

飛騨生活文化センターにおいてアーティスト「かりゆし」様をゲストとしてお招きしてのコンサートや、地元高校生のダンスパフォーマンスや歌のパフォーマンスを披露するといった事業を開催させていただきました。また、昨年も高山市民文化会館において MAP '05 というイベントを開催し、地元の高校生の音楽などのパフォーマンスを地元の高校生や住民の方々に披露させていただきました。

本年度私たち MAP '06 は「地元を離れても、ふるさとを忘れない」「学生の力で飛騨地域を元気あふれる街に」というテーマのもと、将来もう一度地元に戻ってきたいと思ってもらえるような記憶に残るイベントを将来の高山を担う高校生が主体となって開催し、地域と繋がりをつくり、地域活性の経験を重ねたいと考えております。

そこで、我々は飛騨地域の高校生を対象に各種アンケートを実施いたしました。

まずは「高校卒業後はどのような道に進みますか？」という質問に対して、56.9%が飛騨地域外への進学を希望しておりました。市内への就職を考えている高校生は全体の 6.7%しかいないという結果となりました。

一方、高校卒業後、飛騨地域外に進学する高校生に対して「将来的には地元に戻ってきたいですか？」という質問に対しては、半数以上が戻ってきたいと答えました。

このことから、地元高校生は、飛騨が嫌いだから離れるのではなく、進学のためやむを得ず離れるのだということがわかりました。

それでは飛騨の高校生は地元企業の名前をどれだけいえるのだろうかという質問したところ、15 社という答えが大多数を占めました。

そのことから、進学で地元を離れた高校生たちが、将来、いざ地元に戻ろうと考えても、地元にどのような仕事があるのかわからないという事実があることがわかりました。飛騨には 6000 社以上の企業があるにもかかわらず、この結果は非常にもった

いないと考えました。

そこで、私たちが考える飛騨の高校生における課題とは、まだ知られていないふるさとの魅力を、まずは僕たちが知り、それを発信していく事、また、普段交わる事事が少ない他校の高校生同士等が交流する事が大切なのではないかと考えました。

2. 事業の内容と効果・・・・・・・・長瀬 優獅様
それでは、私たちがどのような事を実現したいのかを説明させていただきます。

一つ目は企業ブースの設営です。

先ほど説明した高校生へのアンケート結果を踏まえて、飛騨の企業の情報を詰め込んだ企業ブースを開催したいと考えております。高校生だけでなく、中学生や大人の方もあらたな発見が出来、来場者が地元企業の方から直接お話を聞くことが出来るよい機会になるのではないかと考えています。この企業ブースでは、普段学校などで行われる受け身の企業説明ではなく、若者自らが能動的、積極的に地元企業を知る機会としたいと考えます。

二つ目は、地元企業さんとタイアップしたクイズ企画です。

飛騨のよさを再発見し、地元の方々との繋がりをより強く感じるために、地元企業の方と協力して中高生対象のクイズ企画を開催し、より主体的に飛騨のことを知る機会としたいと考えます。

この二つの企画を通して、地元自体や地元企業への興味に繋がり、将来的に「地元での就職」が選択肢の一つなればと考えております

三つめは高校生ステージです。

これは僕たちが開催したいと思っている企画の最も大きな部分で、音楽祭という形でイベントを開催したいと考えています。内容としては、昨年同様、斐太高校の軽音楽部や、高山高校の太鼓部などのステージや、趣味でバンドを組んでいる人たちのステージなどを行いたいと思います。音楽というどの世代でも共通の話題になることに焦点を充てることで、普段かかわりの少ない他校の生徒などとも交流する橋渡しになればと考えます。

四つ目は中学生との連携です。

昨年は古川中学校から何名かの生徒さんを招待しましたが、今年は高山市の中学生と連携していきたいと考えております。中学生の段階で飛騨や飛騨の企業の魅力を知ること、また、高校生のステージに触れることで、高校の選択の一助ともなり、またその先の地元企業への就職にもつながると考えます。

私たち MAP '06 はこのような内容で活動をしてまいります。

また、昨年同様「流れ星」さんに出演をお願いしようと考えております。

このイベントは 2025 年 3 月 16 日に高山市民文化

会館にて開催を予定しております。

3. 来年度事業計画・・・・・・・・藤白 絢子様
来年度以降もこのような高校生が主体となり、高校生や地元の方々と繋がるイベントを恒例化したと考えています。また、MAP '07・08 と継続できるように、中学生とのかかわりを深める事も目指しております。

私たちのテーマは「繋ぐ#飛騨の青春」です。同年代や地域の人々と繋がることで、若者も一緒に盛り上げるふるさとを目指しています。この事業を通し、ふるさと飛騨について、きっと若者たちはもう一度かんがえるでしょう。私自身、昨年から飛騨を離れることで、ふるさとや家族のありがたみを感じる事が出来ました。この事業を通し、高校生にふるさとを考える場を設けることで、地元を盛り上げたいという思いが芽生えたり、未来への視野を広げ、将来の選択肢を広げられると考えております。

MAP '06 では公式のインスタグラムを設けております。

普段の会議の様子や高校生や地元の方々を対象としたお知らせや情報を発信しておりますので、是非ご覧ください。

ユーチューブで昨年の事業映像をご覧いただきながら資料をお配りいたしますので、皆様のご協賛をお願いいたします。

最後になりましたが MAP '06 の名前の意味を説明いたします。

「M」 私たちの本気を表した ‘まじで ‘の「M」

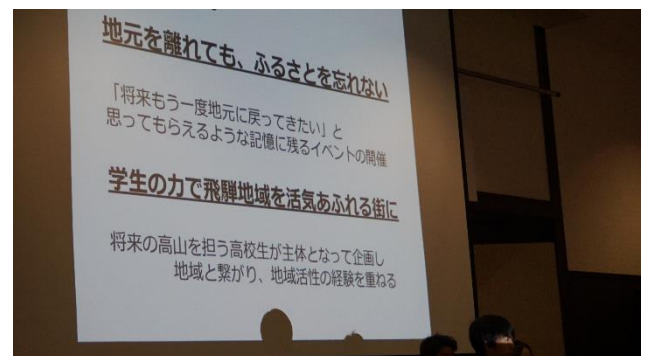
「A」 私たちの青春 ‘青春 ‘の「A」

「P」 時代を表す ‘period ‘の「P」

「06」 私たちが生まれた年

となります。

ご清聴ありがとうございました。



<ニコニコ BOX>

MAP06 実行委員会の皆様のご来訪を歓迎致します。
卓話をよろしくお願い致します。

役員理事一同

MAP06 実行委員会の皆様、本日はよろしくお願い致します。

水口 邦博

誕生日のお祝いを頂きありがとうございます。
先週、初孫が産まれました。

上田 和史
